

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	1174	(H.24)No.	-
-----------	------	-----------	---

事務事業名	日中スポーツ友好交流事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	市民スポーツ室	合田 卓也	

会計区分	事業コード	521502
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 教育費	日中スポーツ友好交流事業	
項 保健体育費	(小事業名)	
目 保健体育総務費	日中スポーツ友好交流事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	3	市民文化の創造
	施 策	3	文化交流
	小 施 策	2	国際交流の推進
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
市民一人ひとりが心豊かな人間形成と郷土を愛する心情の育成を目指し、スポーツを通じて積極的な活動を推進していくための一環事業として、中国・蘇州市とスポーツ友好交流を実施することにより、国際的視野を広めさせるとともに相互理解と友好交流を深める。

事業内容
名張市と蘇州市との友好交流都市連携(H16.3.28)による事業。両国間の文化、教育、体育及び経済交流に及ぶが、当面はスポーツ中心の交流としている。受入、派遣は相互開催とするが、平成21年度の受け入れを最後に国際情勢により中断していたが、平成24年度より交流を再開した。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	日中スポーツ友好交流事業 負担金 100千円	日中スポーツ友好交流事業 負担金 500千円

H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)
日中スポーツ友好交流事業負担金 300千円	日中スポーツ友好交流事業負担金 500千円	日中スポーツ友好交流事業負担金 300千円

	H.24年度(決算見込)	H.25年度(作成時予算額)	H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
直接事業費	100千円	500千円	300千円	500千円	300千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 100	500	300	500	300
人工数					
職員	0.13人	0.20人	0.10人	0.15人	0.10人
臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 1,001千円	1,540千円	770千円	1,155千円	770千円
+ 総事業費	(0千円) 1,101千円	2,040千円	1,070千円	1,655千円	1,070千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
平成20年度より社会情勢により中断していた交流事業(派遣)ができた。このことにより平成25年度交流招聘ができるようになった。	蘇州市との交流事業が再開でき、さらなる日中間によるスポーツ交流を進める。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	日中スポーツ交流を実施することにより、青少年の国際的視野を広め、スポーツを通じて相互理解ができる。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(実践内容を記載)	スポーツ少年団を中心として活動を実施している。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関係する主な市の計画
日中スポーツ友好交流は、青少年の国際的視野を広げるとともに、今まで培ってきた蘇州市との友好関係を継続する上で一定の役割を果たしてきたところであり、今後も継続した取組が必要である。	